



イイケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 688 回 僕も今日から、その仲間になった

2016.7.3

帰宅したら机の上に「**介護保険被保険者証**」が置いてあった。

家内に「誰の？」と尋ねた。「名前を見てください、お父さんのですよ…」僕の名前が書いてあった。介護とは「**するものだ**」とずっと思ってきたが、**今日からは「される」側**になった。

65 歳以上の人口は 2015 年 9 月時点で 3,384 万人、総人口に占める割合は 26.7% だそう。

65 歳以上の人を統計的に「**高齢者**」と呼んでいる。

人口に占める高齢者の割合を「**高齢化率**」と呼んでいる。

2016 年の時点では概ね 4 人に一人が高齢者であり、**高齢化率 25% の社会**となっている。

このまま推移すると日本は 2035 年には 3 人に一人が 65 歳以上の高齢者、高齢化率 34% 以上の社会になる。第二次ベビーブームに該当する 1971 年から 1974 年生まれが、高齢者に至る 2040 年には、高齢化率は 36.1% になり、そして 2060 年には 2.5 人に一人が高齢者、高齢化率 40% の世界に突入すると推定される。

世界の高齢化率を比べてみると、日本の今の高齢化率 25% 以上は断トツだ。

2 位のイタリア・3 位のドイツは 21% 台、4 位のギリシャから、フィンランド、スウェーデン、ブルガリア、そして 8 位のポルトガルまでは、いずれも 19% 台であり、日本は高齢化の**圧倒的トップランナー**として、未知の世界に最初に突入していくこととなる。

僕はあまり実感がなかったが、現在の日本はもう、「**高齢社会**」に入っていること、改めて知った。

たとえば、業界大手ユニ・チャームの**おむつ**の売上高は、2012 年に大人用 1,590 億円、子供用 1,530 億円と、既に子供用のおむつより大人用のおむつの売り上げが多い。

首都圏の**市営バス**に昼間に乗るとほとんどの乗客が 70~80 代くらいの老人という事実。

テレビを見ているのは高齢者。高齢者は若者の 3 倍近くの時間をテレビを見て過ごしており、その時間は 4~6 時間という生活時間帯調査がある。

新聞に関する調査がある、それによると 10 代は 10 人に一人も新聞は読んでいない。20 代も就活が無ければ同じようなものだ。一方、70 代男性の 8 割近く、60 代の 7 割近くが新聞を読んでいる。新聞は引退した男性が読むものだといっても過言でない実態が鮮明にされた。

よく新聞などで、**社会保障**の伸びは年間 1 兆円とよく言われているが、実際は平成 15 年の社会保障の給付額は 84 兆円、平成 25 年は 110 兆円なので 10 年間で 26 兆円、実際は 2.6 兆円／年の割合で増えていることが分る。

高齢社会での直接的な問題は**介護**の問題だ。団塊の世代が後期高齢者になる 2025 年、今の制度で介護士を育成しても 30 万人以上の介護士が不足するといわれている。

そして選挙制度、現在の政治の枠組みも高齢化の波にのまれようとしている。民主制に従うなら、「**シルバー民主主義**」は当然の結果を「是」とするならば、高齢者は若者の 2 倍の人口があり、かつ投票率は若者 2 倍になっている。若者 4 倍の力を持つ高齢者に向けた政治が行われるのは仕方のないことと諦めるか？でも、「**あと 10 年で自民党員の 9 割が他界する**」という予測もある。

日本社会が直面する「**高齢化率が 30% 超の社会**」、

いずれも今すぐにでも手を付けなければならない問題だが、残念ながら手つかずの状態のようだ。

そんな中、僕も今日から、その仲間になった。